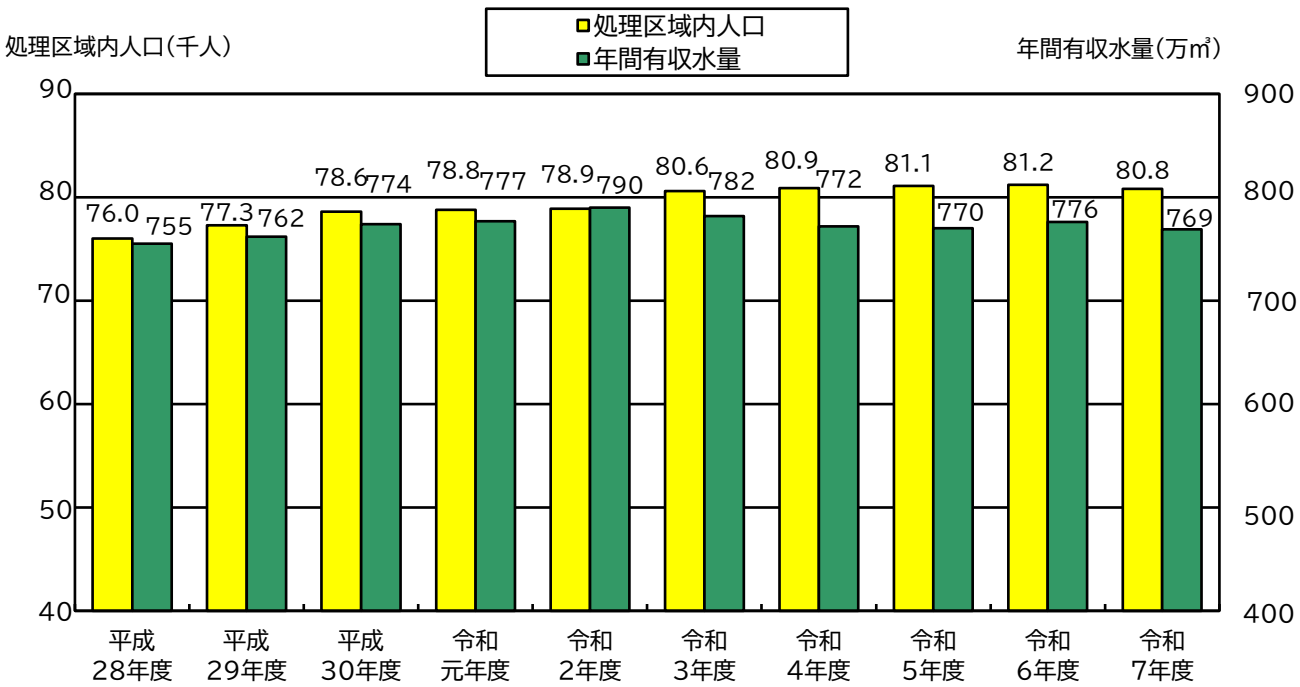
令和7年度
公共下水道事業の決算

みなさまの暮らしと環境を支える下水道。
「どのくらい使われている？」「何にお金がかかる？」をお知らせします。

1.　下水道は、どのくらいの人が使っているの？

処理区域内人口	普及率	水洗化人口	水洗化率	年間有収水量	有収率
80,799人	72.6%	74,841人	92.6%	7,689,238㎥	65.0%



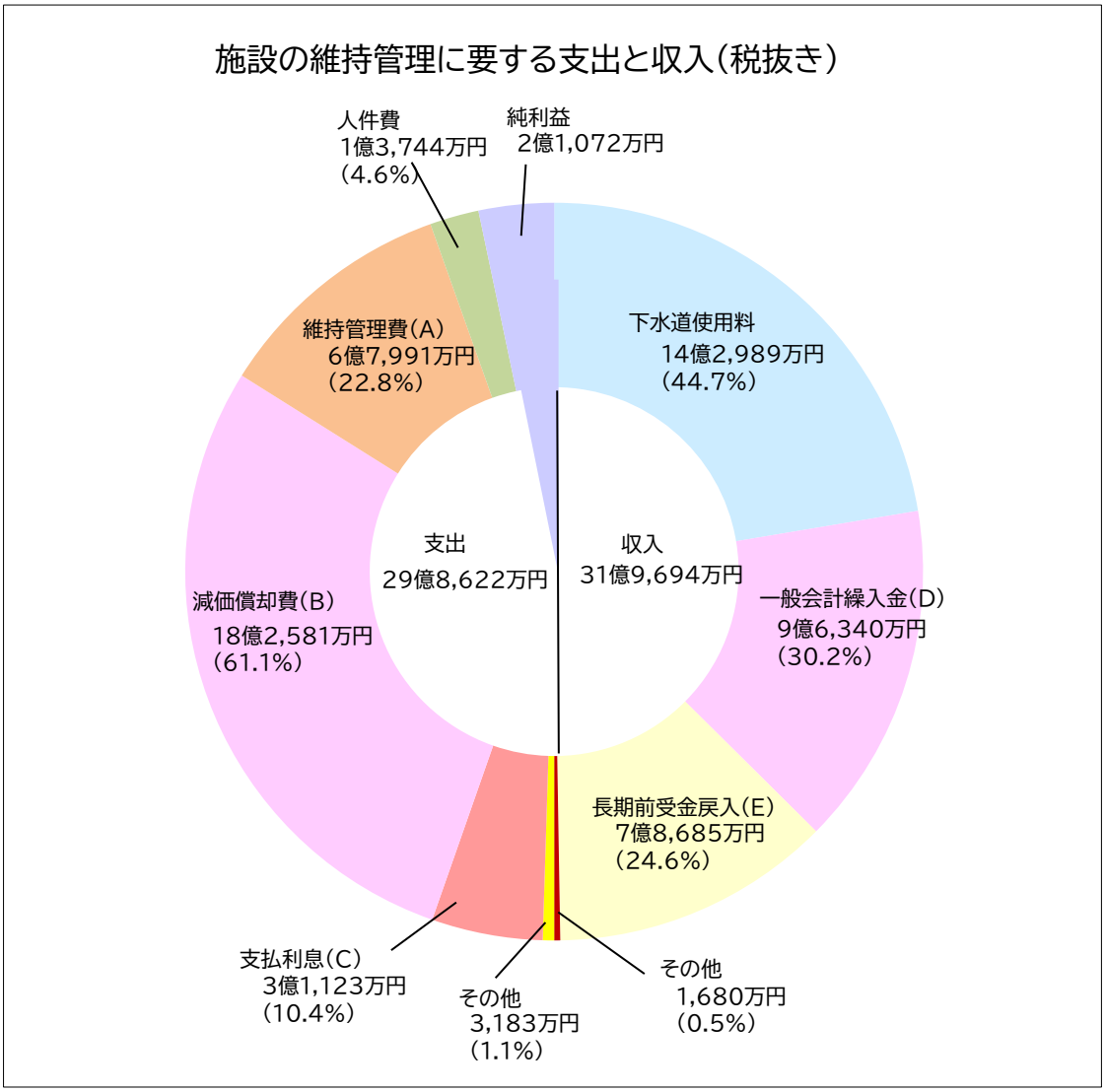
下水道を利用できる地域は、未普及地区への下水道管の布設などにより少しずつ広がっていますが、人口減少により処理区域内人口は減少しています。
また、人口減少などにより、使用料収入のもととなる有収水量は伸び悩んでいます。

用語の説明

普 及 率 ： 市内人口のうち、下水道を利用できる地域に住んでいる人の割合です。
水洗化率： 下水道を利用できる人のうち、実際に下水道へ接続している人の割合です。
有収水量： 下水処理場で処理した水のうち、使用料収入のもととなる水量です。
有 収 率 ： 使用料収入の対象となる水の割合です。

2.　みなさまからいただいた使用料は、何に使われている？

下水道を安全・安定的に使っていただくため、施設の維持管理や減価償却、借入金の利息などにお金がかかります。
収入には、下水道使用料のほか、一般会計繰入金や長期前受金戻入などがあります。

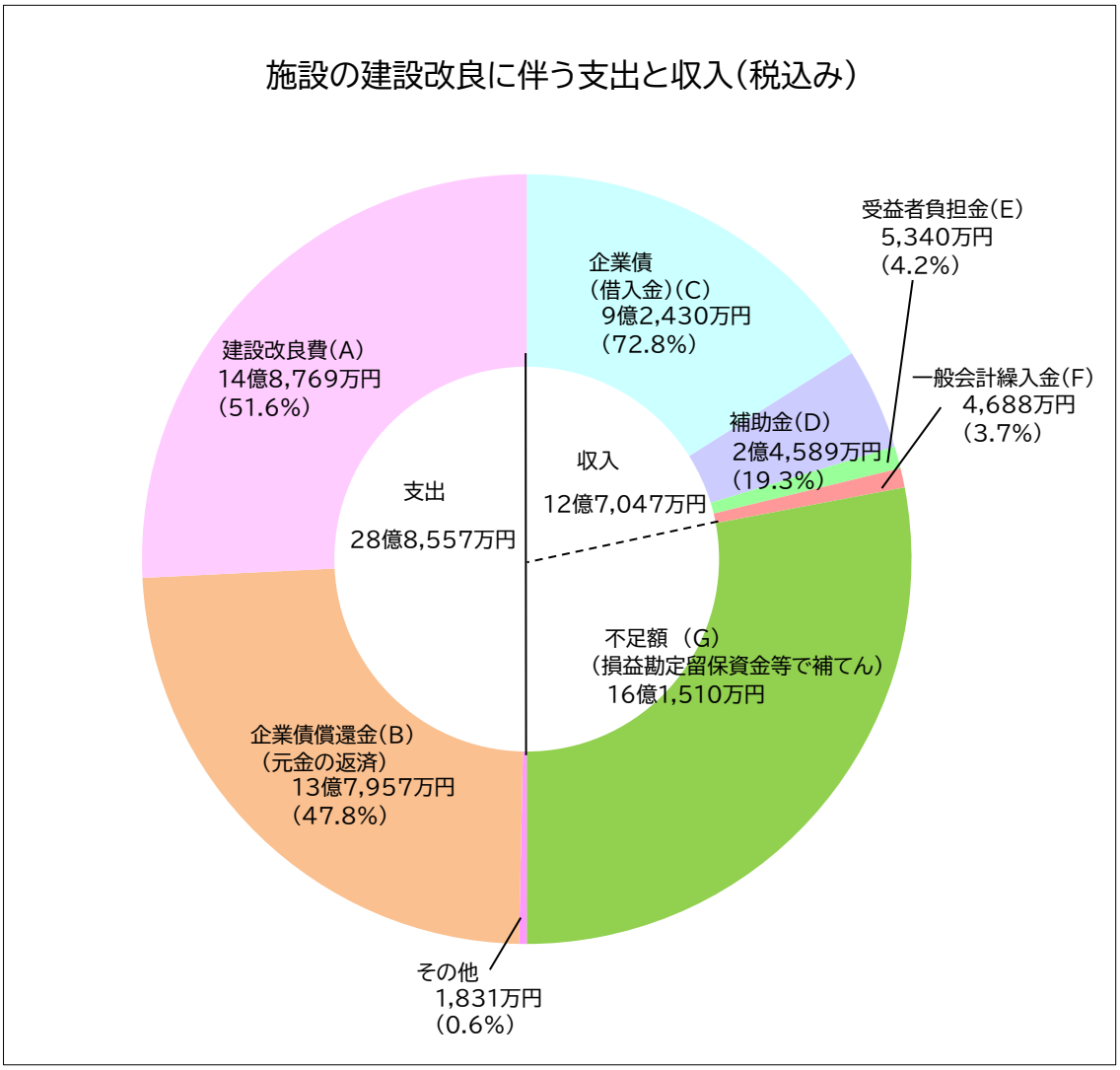


用語の説明

維持管理費（A）：	下水道施設を日々、安全・安定的に運転するための費用
減価償却費（B）：	下水道管や処理場などの建設費を、耐用年数に分けて費用化したもの
支払利息（C）：	施設建設などのために借り入れたお金の利息
一般会計繰入金（D）：	下水道事業を運営するために、市の一般会計から受け入れたお金
長期前受金戻入（E）：	建設時に受け取った補助金などを、減価償却費に合わせて収益化したもの

3.　施設の整備・更新には、どれくらいかかる？

下水道管やポンプ場、処理場は、長く使う大切な施設です。新しく整備するだけでなく、古くなった施設を更新していく必要があります。
そのために必要なお金は、企業債や補助金で賄っています。



用語の説明

建設改良費（A）：	下水道管の布設、施設の改築・更新などにかかるお金
企業債償還金（B）：	国などから借り入れたお金の元金返済金
企業債（C）：	国などから借り入れたお金
補助金（D）：	国からの補助金
受益者負担金（E）：	下水道の整備によって利益を受ける人に、建設費の一部を負担していただくもの
一般会計繰入金（F）：	下水道事業を運営するために、市の一般会計から受け入れたお金
不足額（G）：	事業に必要な資金が不足する分を、減価償却費などをもとに蓄えてきた資金で補うもの

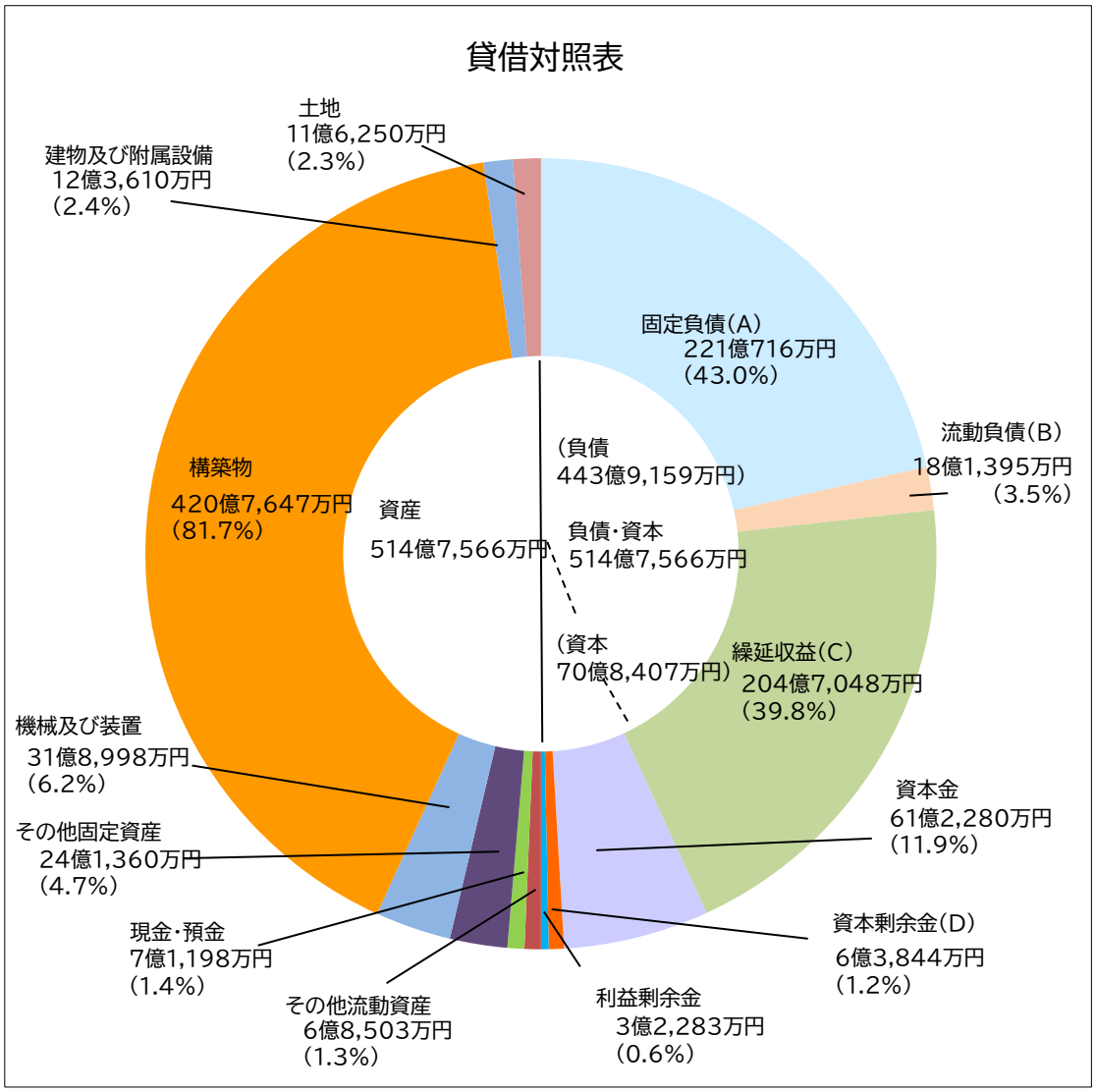
※収入額には、翌年度に使う予定の財源は含めていません。

令和7年度の主な建設改良事業

- 汚水管渠布設等工事　2,612.4m（令和6年度からの繰越工事〔2,272.62m〕を含む）
- 古祖原ポンプ場外耐水化工事
- 防府浄化センター汚泥処理設備工事

4. 防府市の下水道施設は、どれくらいある？

令和7年度末の資産は514億7,566万円。そのうち、下水道管などの「構築物」が81.7%を占めています。



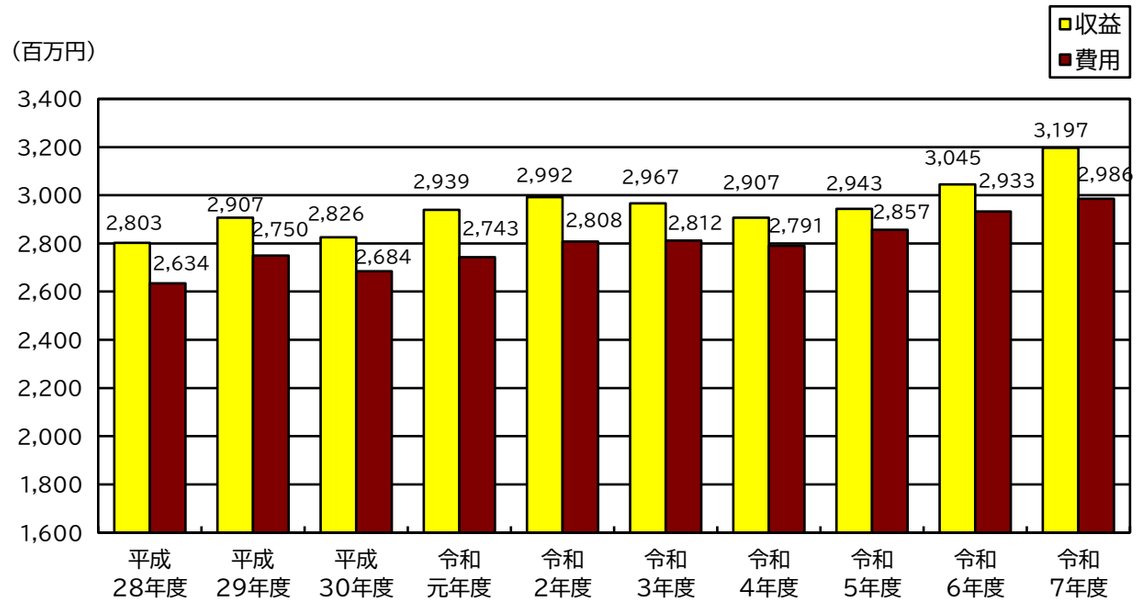
用語の説明

固定負債(A):	支払期限が1年以上後になる企業債などの長期借入金や1年を超えて使用されるもの
流動負債(B):	支払期限が1年以内の借入金、未払金や1年以内に使用されるもの
繰延収益(C):	建物など、償却資産を取得する際に財源として過去に交付を受けた国庫補助金など
資本剰余金(D):	土地など、非償却資産を取得する際に財源として過去に交付を受けた国庫補助金など

5. 下水道事業を取り巻く環境は、変化しています

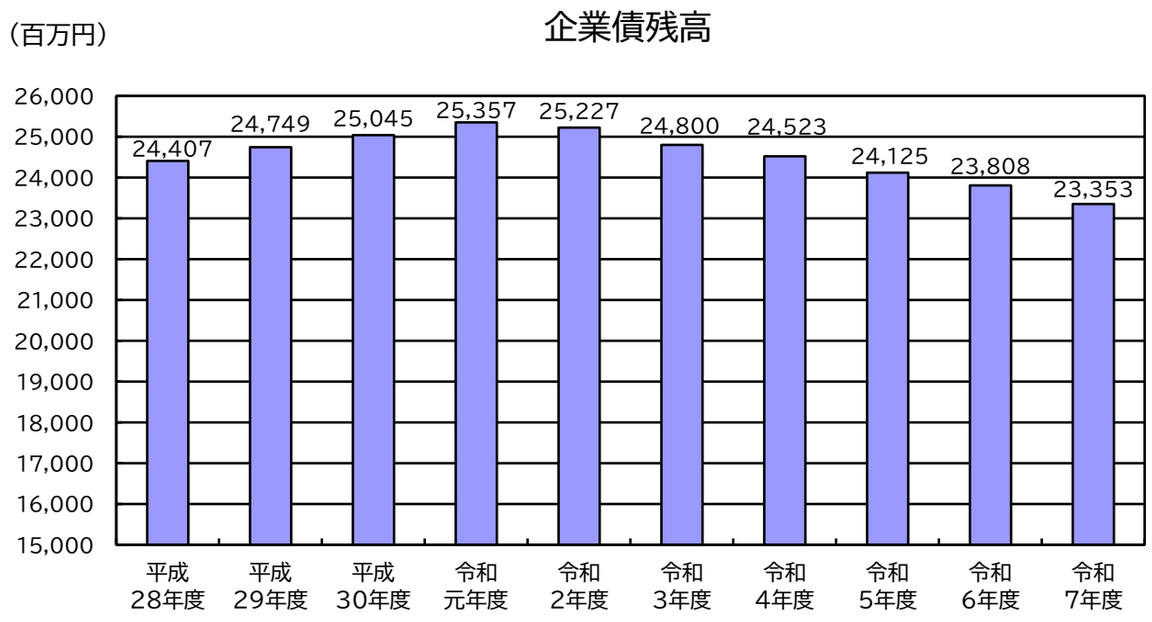
収益と費用の推移

収益は、令和7年1月の下水道使用料の改定により前年度に比べ増加しています。
一方、近年の物価高騰により、施設の維持管理や更新にかかる費用も増加しています。



企業債残高の推移

企業債残高は減少傾向にあり、今後もしばらくは減少傾向となりますが、大規模な雨水排水整備事業を開始すると増加に転じる見込みです。



6. 市民のみなさまへ

下水道は、普段の生活では目にする機会が少ない施設ですが、毎日の暮らしや、衛生的で快適なまちを支える大切な役割を担っています。
下水道施設は整備から長い年月が経過しており、これからは老朽化した施設の更新や維持管理に多くの費用が必要となります。
これからも、下水道を将来にわたって安心して利用していただけるよう、計画的な整備・更新と効率的な事業運営に努めていきます。